

「未来を彩るサステナブルなショッピング」を目指す



POSITIONING

もっとサステナブル（持続可能）なショッピングの世界を彩るために、私たちは行動します。多様性を促進し、起業を支援し、お届けまでのすべての工程に目を配り、廃棄物を減らします。

We use the power of our platforms to inspire a more sustainable way to retail: intentionally inclusive, entrepreneurially driven, responsibly curated and waste-free.

TAGLINE

未来を彩るサステナブルなショッピング

Inspiring a more sustainable way to retail.

3つの重点領域



Protecting Our Environment

- + Sustainable Packaging +
- + Energy-Efficient Operations +
- + Shipping & Logistics +

私たちの住む地球を守る

- + 環境にやさしい梱包資材 +
- + 省エネを推進する事業活動 +
- + グリーン物流 +

お届けするものに責任を持つ

- + 調達や製造にも責任を持って目を配る
- + お届けまでのどの過程でも守られる人権
- + 地球にやさしい素材をもっと



Curating Product Responsibly

- + Responsible Sourcing & Manufacturing
- + Human Rights in the Supply Chain
- + Scaling Sustainable Materials






Championing Empowerment & Belonging

- + Diversity, Equity & Inclusion
- + Thriving Entrepreneurs
- + Community Involvement




より多様な人材に力を与え 活力となるよう積極的に支援する

- + DE&I (多様性を公正に受け入れる)
- + 起業支援
- + 地域社会への貢献






優先課題	年度	目標	国連 持続可能な開発目標
 省エネを推進する事業活動	2022	温室効果ガス排出量の削減（スコープ1&2） グループ全体で、温室効果ガス排出量（スコープ1 及び2）を対2018年比で14%削減	 
 廃棄物の削減	2025	職場での使い捨てプラスチックの削減 2021年末までに、世界中のQRGのオフィススペースで使い捨てペットボトルを全廃 職場での梱包材のリサイクル率を上げる <ul style="list-style-type: none"> 2025年までに、全てのフルフィルメントセンターで紙、段ボール、木材、ビニール材を100%リサイクルする 2022年までに、米国のフルフィルメントセンターで廃棄物ゼロの施設の実現可能性を査定する（QVC UKの基準に基づく） 	



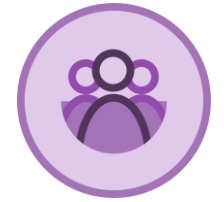
優先課題	年度	目標	国連 持続可能な開発目標
 環境にやさしい 梱包資材	2030	<p>発生元の削減を通じた二酸化炭素排出量の抑制 2022年までに、1 出荷梱包あたりの平均二酸化炭素排出原単位（生産過程で排出される二酸化炭素の総量）を対2018年比で5%削減する</p> <p>QRGの梱包がリサイクル可能なことをお客さまに周知 2025年までに、USで全ての配送用外箱と全てのオリジナルブランドパッケージに"How2Recycle"ラベル（規格が統一されたリサイクルラベル）を使用する</p> <p>QRGの梱包のリサイクル性を高める 2025年までに配送用の外箱は全てリサイクル可能にする 2030年までに全てのオリジナルブランドのパッケージはリサイクル可能にする</p>	 





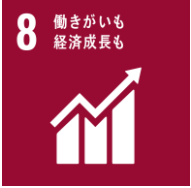



優先課題	年度	目標	国連 持続可能な開発目標
 <p>環境にやさしい 梱包資材</p>	2030	<p>QRGの梱包にリサイクル資源を使用</p> <ul style="list-style-type: none">2025年までに、配送用外箱におけるリサイクル資源の平均含有率を次のとおり増加させる<ul style="list-style-type: none">- 配送用繊維素材におけるリサイクル資源含有量を30%増加- プラスチックにおけるリサイクル資源含有量を25%増加2030年までに、オリジナルブランドのパッケージにおけるリサイクル資源の平均含有量を最低でも次の割合まで引き上げる<ul style="list-style-type: none">- 繊維素材におけるリサイクル資源含有量を60%に- プラスチックにおけるリサイクル資源含有量を30%に	 

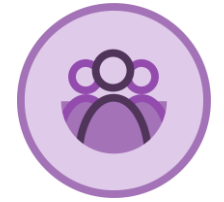
重点領域②





より多様な人材に力を与え活力となるよう積極的に支援する



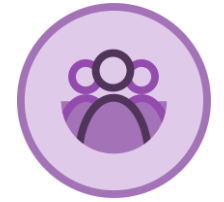
優先課題	年度	目標	国連 持続可能な開発目標
  地域社会への 貢献 起業支援	2025	<p>2020年から2025年の間に総額1億ドルを寄付、うち5,000万ドルを女性の活躍する社会と起業支援へ寄付する</p> <p>2020年から2025年の間にチームメンバーのボランティア時間数を10万時間にする</p>	   





より多様な人材に力を与え活力となるよう積極的に支援する



優先課題	年度	目標	国連 持続可能な開発目標
<p> Diversity, Equity and Inclusion (DE&I: 多様性を公正に受け入れる)</p>	<p>2025</p>	<p>経営陣や管理職に多様性に富んだ人材を登用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年までに軽視されがちな人種や民族のリーダーを25%に 2025年までにリーダー層を見直し黒人を現在の2倍、ラテン系を12%、ヒスパニック系を10%にそれぞれ引き上げ 2023年までに全マーケットでディレクター以上の男女の割合を半々に（女性50%） <p>DE&I（多様性を公正に受け入れる）活動と結果の責任を担うインクルーシブなリーダーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年までにすべてのリーダーがDE&Iの実行責任を伴う目標を定める 2022年までに全リーダーがインクルーシブなリーダーシップ、自覚なき差別/アライシップ、人種差別反対主義、人種の平等のトレーニングの受講を完了する 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう </p> <p>10 人や国の不平等をなくそう </p> <p>16 平和と公正をすべての人に </p>

より多様な人材に力を与え活力となるよう積極的に支援する







優先課題	年度	目標	国連 持続可能な開発目標
 <p>Diversity, Equity and Inclusion (DE&I : 多様性を公正に受け入れる)</p>	<p>2025</p>	<p>平等に受け入れられる居場所があると感じることのできる、インクルーシブな環境をチーム、お客さま、地域社会へと広げていく</p> <ul style="list-style-type: none"> 2022年までにチーム全員25,000人が無意識のバイアス、自覚なき差別/アライシップ、人種差別反対主義、人種の平等のトレーニングの受講を完了する 2025年までにDE&Iのチームメンバー・エンゲージメントサーベイの数値を75以上にする <p>過小評価されているグループに属する方々のビジネスや製品を取り上げ、より多くのお客さまに知ってもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年までに過小評価されているグループに属する方々の小規模ビジネス500社を取り上げる 2021年までにベンダー/サプライヤーの多様性プログラムを構築し展開する 	 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>16 平和と公正をすべての人に</p>

重点領域②

より多様な人材に力を与え活力となるよう積極的に支援する



優先課題	年度	目標	国連 持続可能な開発目標
 <p>Diversity, Equity and Inclusion (DE&I： 多様性を公正に 受け入れる)</p>	2025	<p>公正な社会の実現を目指し地域社会と連携する</p> <p>会社としての取り組みや進捗を開示し、結果に対する責任を 持ち続ける</p> <ul style="list-style-type: none">DE&Iの進捗も含め、CR（コーポレート・レスポンシビリティ）の成果について初年度の年間報告書を2021年度内に公開する。	 <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>  <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p>  <p>16 平和と公正を すべての人に</p>